

かけだ詩⑥

そだちと臨床研究会

かわばた
川畑
たかし
隆

オンライン・ミーティング

オンラインが押し寄せる
便利に生活するためにオンラインを使っても
これでもかと今夜も私を攻め立てる

ライブじゃなくてオンラインだけで
ミーティングは変わらないだつて？

そんなことはない
オンラインは音声言語と自意識を押しつける
喋るために喋らなくちゃならない
そんなにスポットライトをあてるなよ

いいかげんに慣れろつてか？
でも もういいだろ？
はい オフライン

またオンライン

オフラインしたのに
またオンライン

いつも黙ってしまうから
今日は喋ろう でも
おいおい 川畑さん
寝とるんかいな

非常勤講師でのオンライン授業
落ち着かず疲れ切った九十分
研修講師の依頼は
オンラインだということ断った

退職とコロナで社交性がたしかに落ち
ミーティングの話題にも乗り遅れ
ホントのところの「めんどくさい」が
自己弁護に聴こえてきた

新しい生き方 ウイズ・コロナの生活様式
そんな言い方に
すぐ染まってしまふのが嫌だ
でもそれこそ年寄りなのか

観葉植物の葉っぱが頷(うなず)く

そんなことをオンラインで工夫して
新しいコミュニケーションを
盛り立てようとしている人がいる

めんどくさいけど
社交性をもう一度奮い立たせてみようか
そのためにはまず何だ
頷くのは見えないから相槌か ウンウン

洗濯機

全身の力を振り絞り脱水の役割を全うしようとする
その健気さ
ゴトゴトゴトと騒音は高く 激しく痙攣している
二十八年間の変わらぬ活躍が
この断末魔の叫びに帰結しようとしている

時代はニューフェイスに交代することになった
あと三日
引退間際のオールドフェイスの調子がおかしい
音が静かだから臨終かと思いきや
ちゃんと仕事をしている
これはもしかして調子がいいのだ

頑張っている君の背中ばかりを見てきた
はじめて君のその背中の中の出会った気がした
ニューフェイスの手前 調子のいいのは具合が悪い
旧い友人からの穏やかなさよならだと
都合のよさを上乘せして
不義理を重ねる

誇大広告

たいした感動もしていないのに
感動した感動したって言ってばかり
決心にしたってそうだ
ただ流れに従っただけなんじゃないのか
：なんてケチをつけたくなる性分

等身大の言葉を探している
「感動」よりは「感激」のほうが手前にあるか
「決心した」よりは「決めた」のほうがなだらなか
実際からの距離をできるだけ縮めたくて探す
ひとりよがりの感覚

輪郭のはっきりした言葉は
曖昧なものを削ぎ落としている

日陰におかれてはもったいないもの
ないことにされてはいけないものも
ちゃんとそこにおいてほしい

いわば優柔不断の言葉

それは世間では分が悪いが 実は豊かだ
どっちつかずだから前に進めないが
前に進まなくていいときもある
進むとどこに行ってしまうのか

輪郭のはっきりした言葉は

自分自身を抜きに価値を押しつける

言った方も聴いた方も

筋の通っている分だけ不自由になりやすい
わかりやすさは薄っぺらさにつながる

いわゆる説明責任という言葉

説明というからには筋の通ることが一番

筋の内容は二の次になる

言葉なくては成り立たない世の中の
やっかいな言葉たち

作品

あの人なりの美学というときの美学
私なりの美学はあるか あるのだそうだ
ある人から それが君の美学なんだねと名付けてもらった

相手が手の届かない人に見えて 縮こまってしまいう私
人見知り そんな自分は嫌だ

嫌だから 出会った相手から逃げないようにしている
でも逃げている自分も知っているし

そういう自分もひた隠しにはしていないつもりだ
だから 私を見抜いている人もいる

ところが 私の逃げない美学は

大方のところで成功しているんじゃないかと聴いた
つまり 人見知りなんかを感じさせないらしい
でも その成功は嬉しいようで寂しいところがある

友だちの業績に嫉妬した

その業績を学ぶ会を主宰することで 落ち込みから立ち直った
会は引き続き社会的活動のきっかけになった

作者のいろんな個人的感情が背景にあるといわれるような
芸術作品が数多くあるじゃないか

そんなようなもんだと嘯(うそぶ)いた

突っ張った美学より 何でもありの美学のほうがラクでいい

でも その美学にしたって突つ張りがないとラクにならない
私の美学 感情と認識の折れ合いの歴史
ありのままにはいないという ありのまま

予定のない予約

生まれてきたときの経験が
しっかりと心にあつたなら
その恐れと驚きは
どんな言い表しようがあつただろう

へその緒が切られた瞬間に
世の中に一人つきりで放り出された
その未知の頼りなさは
満たされたときを過去に押しやつた

でもそんな私をしっかりと抱きとめた
その手はかけがえのない拠りどころ
支えられたことよりもっと深く
この私という人間を共に創つてくれた

明日の心許なさなどないかのように
あたりまえの安寧を今日も過ごして
生まれてきたときの記憶を

天が預かってくれていることに助けられて

でも起きるできごと訪れる不幸せの
覚悟の準備など本当はできはしない
たとえ予測のついたことであつたとしても
そのとき失つた絆の取り返しはつかない

うつむく私を静かに見守っていてほしい
その眼差しはかけがえのない拠りどころ
支えられることよりきつと深く
その後を生きること繋ぎとめてくれる

TV番組の記憶の底(六十五歳以上限定版)

家にテレビが来た日に最初に映つたのは【キューリー婦人】。
暗い灰色の画面だった。「空飛ぶじゅうたん」に乗った【不思議
少年】。主役の太田博之は若くして亡くなったと昔新聞で
見た。鉢巻き姿で舟に乗る桂小金治の【ポンポン大将】。ガン
さんとアラさんが登場する【事件記者】。新聞を刷る輪転機の
映像と音が「事件」を暗示してドキドキした。それに続いてだ
ったか【私だけが知っている】は推理ゲーム? 徳川夢声が進
行役だった。「中嶋弘子です」と首を右に傾けながら挨拶する
司会者の真似をしながら観ていた【夢で逢いましょう】…永六
輔、中村八大、坂本九、黒柳徹子、渥美清、EHエリック、ジ

エリー藤尾、田辺靖雄、九重佑美子：【若い季節】には淡路恵子、菅原進：【バス通り裏】も当時は新しい連続ドラマ。誰が出ていた？「三匹の子豚」は【ブー・フリー・ウー】で、お姉さんの一人は荒木道子さん。【チロリン村とクルミの木】。ドン・ガバチョの【ひよっこりひよたん島】：こういう人形劇は昼ご飯や晩ご飯の湯気と一緒に思い浮かぶ。【鉄腕アトム】や【鉄人28号】は、マーブルチョココレートの筒などに入っていたおまけシールが番組より先にチラつく。たくさん集めた。【まぼろし探偵】はラジオだったか？【月光仮面】【怪傑ハリマオ】もよく観ていた。ピストルは「パン、パン」と乾いた安物っぽい音だった。【名犬ラッシー】【名犬リンティンティーン】、それに日本版の【名犬フオッグ】：犬モノは面白かった。【ウルトラQ】の「Q」の文字がねじれるのに合わせて首をねじった。【逃亡者】【ルート66】【ハワイアンアイ】【ベンケーシー】【アンタツチャブル】：外国モノは馴染みの顔じゃないのもあってかむずかしくて背伸びした。【奥様は魔女】や【ルーシーショウ】、【ターザン】なんかは面白かった。「おんみーつうけんしー」と口をつけて出てくる【隠密剣士】。主役は大瀬康一で東映の女優・高千穂ちづるのダンナ。宗方勝巳の【高杉晋作】とかの時代劇もいろいろ。大村崑の【番頭はんと丁稚どん】。ダイハツ提供で、ダイハツ・ミゼットを宣伝していたのはこの番組？【お笑い三人組】は江戸屋猫八、一龍齋貞鳳、三遊亭金馬の三人だったっけ？【笑えば天国】というのもあったし、「あたり前田のクラッカー」の【てなもんや三度笠】は藤田まこと。財津一郎も出てたよな。白木みのるの「珍念」の字はこれで合ってた？【スチャラカ社員】は日曜の昼だったかしら。中田ダイマル・ラケットに藤純子（富司純子）も社員だったって。【南総里見八犬伝】は誰が演ってたろう？もしかして伏見扇太郎？【新伍十番勝負】は大川橋蔵。大々好

きだった。美空ひばりと同じ五十二歳で亡くなったのかな。山城新伍の【風小僧】は子ども会の映画会でも観た。【私の秘密】の司会は高橋圭三、じゃあ【ジェスチャー】は誰だったっけ？八木二郎？「流星号流星号応答せよ！」の【スーパージェットター】は「のりたま」の丸美屋提供だったろうか。【これが青春だ】シリーズは大人気。主演は夏木陽介から竜雷太へ。【ホイホイミュージックスクール】と言えば木の実ナナ。【シャボン玉ホリデー】はザ・ピーナッツの二人とハナ肇の掛け合いが懐かしい。【ロッテ歌のアルバム】は玉置宏の司会で「歌謡曲」の全盛時代。橋幸夫、舟木一夫、三田明いやそれは最初の頃で西郷輝彦になって御三家。桂小金治が司会の【史上最大のクイズ】の賞金は百万円だった。

四角（よすみ）が丸く白黒画面、チャンネルはダイヤル式、電波で目が悪くならないようにという薄いセルロイドのいかがわしい板を画面にかけたテレビで観ていた。テレビ放送初期の放送のない時間帯の画面は砂嵐だった。「底」というには年代が後の番組名もあるが、私が小さい頃のテレビ番組といえば、こういうのが釣り上がってくる。